

郷土の偉人の伝記をお読みになりませんか。

ー閉塞感の漂う現在の世の中で清涼剤となる本ー

『道一筋中井虎男傳』再版本出版と『道一筋中井虎男傳再版に寄せて』出版の経緯について

中井虎男先生は、大野原で生まれ、旧制三豊中学(現観音寺第一高等学校)で数学の教員として三十年、その後大野原村長として十年勤められました。大野原名誉町民第1号です。

その生涯を綴った『道一筋 中井虎男傳』初版本は、昭和58年に三豊・観音寺教育会から出版され、当時会員であった教員の方を中心に配布されました。

現在は、地元の図書館に数冊程度しか残っておらず、インターネット販売では、2万円近くの価格がつけられており、若い人を始め希望する方々に直接手に入れにくい状況でしたが、三観教育会の再版計画予定はありませんでした。

今回、再版本の出版に関与された柘植宗尚氏(観一S37年卒)の祖父が中井虎男先生にあたられます。柘植氏は平成十三年に中井虎男頌徳会を立ち上げ、先生の功德を頌え、その思いを引き継がれてきました。その柘植氏を慕い、懇意にされている小山洋一氏^{おやまひろかず}(61歳、観音寺市栗井町在住、観一S44年卒)が、『道一筋 中井虎男傳』初版本を読まれ、中井虎男先生の「おごりのない生き方」に共鳴され、若い人たちははじめ多くの人たちに読んでほしいということで、三観教育会に再版許可を得て、私費を投じて今回の再版本を今年平成24年1月に出版されました。

できるだけたくさんの方に読んでいただきたいという小山氏の思いにこたえるため、その本の紹介文をつくろうと、柘植氏を中心に『道一筋中井虎男傳再版に寄せて』編集委員会が組織され、三宅同窓会会長様、浜田県知事様、白川市長様、平野元大野原町長様、大平観音寺市教育長様をはじめ、昔中井虎男先生に関係ある組織の皆様にも再版本を読んでいただき、寄贈文を書いていただきました。それをまとめたものが、『道一筋中井虎男傳再版に寄せて』という冊子です。平成24年3月に発行されました。

これらの冊子をまず観音寺第一高等学校の生徒さんに読んでいただくということで、平成24年3月、柘植様が高校の方へ200冊寄贈されました。教員、学生のみならず、地元の方にはぜひ読んでいただきたい伝記であると確信しております。読んでいただいた方の感想文を送っていただくことにしており、今後感想文集も作成する予定です。さらに今後も中井虎男先生の思いを引き継ぐ活動をするために、『道一筋中井虎男傳』再版の趣旨に賛同していただける方は、『中井虎男頌徳会』の賛助金として1000円を納めていただければ、『道一筋中井虎男傳再版本』と『道一筋中井虎男傳再版に寄せて』の冊子2冊を差し上げるという形にさせていただいております。何卒、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

『道一筋中井虎男傳再版に寄せて』編集委員会

連絡先 0875-54-4760

非ユークリッド幾何学

中井 虎 男

明治11年（1878）に大野原町下木屋に生まれる。16歳で観音寺高等小学校卒業、丸亀中学校2年に編入21歳で香川県尋常中学校丸亀分校を首席で卒業。22歳で丸亀税務署管理局に奉職、翌年退職し東京物理学校に入学、当時は入学試験はなく入学時300人ぐらいいたが、卒業する時は4人か5人であったと言われている。第2学年を終了後帰郷し大野原高等小学校の代用教員に採用される。26歳で文検算術・代数・幾何（文部省検定試験数学科）に合格した。

明治37年、香川県立三豊中学校教諭に採用される。数学の中井先生の始まりである。大正15年まで三豊中学校教諭として奉職し、この25年間に先生の教えを受けた多くの子弟の中から、現代日本の指導的立場にある立派な人材を輩出した。昭和3年大礼記念章を授与され、同9年三豊中学を完全退職した。同10年大野原村長に就任、産業組合長・水利組合長・五郷山部分林組合長を兼ねながら村政にたずさわり名村長と謳われた。勲六等瑞宝章を授与され、翌年村長を辞職した。

同23年に司法保護委員として更生保護事業に尽力、同35年に本山寺その他に保存されている「和数額」の内容を解明し、「非ユークリッド幾何学」を完成し発刊した。その功績のため、県知事より県教育文化賞を受賞する。同40年大野原町名誉町民（第1号）の称号を贈られる。同44年金婚の年を迎え「回想三豊中学」を発刊し、同年（1969）10月12日、92歳で死去。



大野原八幡宮

旧制三豊中学校(現観音寺一高)の教師や、大野原村(現観音寺市大野原町)の村長を務めた中井虎男の伝記が、約30年ぶりに再版された。深い慈愛と高潔な人格で教育



小山洋一さん

者として信望と敬慕を集め、「三豊聖人」とも称された中井。生き方に感銘を受けた観音寺市の男性が私費を投じ、新たに遺徳を広める機会になればと再版に尽力した。

中井虎男氏遺徳刻む

「三豊聖人」慕う小山さん(観音寺)

筋 中井虎男傳。同市 取り組んだ。粟井町の農業小山洋一さん(61)が今春、自費で1500冊を発行した。

筋 中井虎男傳。同市 取り組んだ。粟井町の農業小山洋一さん(61)が今春、自費で1500冊を発行した。校は各クラスに置き、理

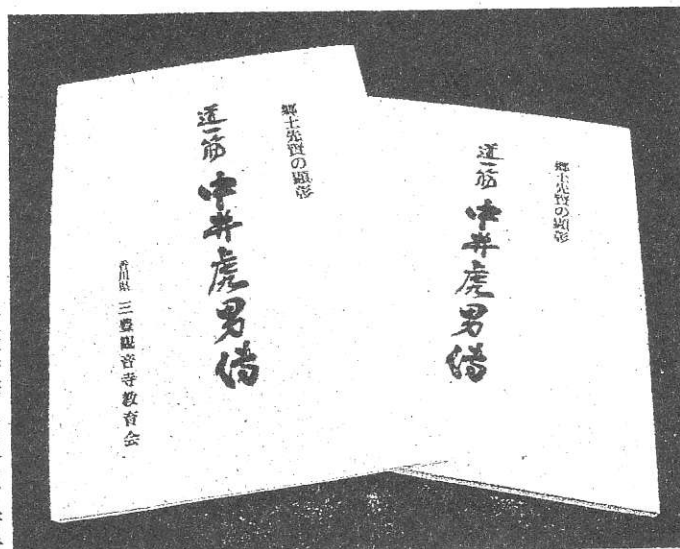
数科の生徒には1冊ずつ配布した。島田政輝校長は「生徒たちは本校ゆか(0875(54)4760)。」

30年ぶり伝記再版

旧制中教師や村長で活躍

中井虎男(1878～1969年)は旧制三豊中学校で1934(昭和9)年まで30年間、数学の教師として教鞭を執り、研究者としても知られる。退職後は10年間、旧大野原村長を務めた。旧大野原町の名誉町民第1号になり、第1回の県教育文化功労者の表彰も受けている。

再版されたのは「道一筋 中井虎男傳」で、小山さんは中井との接点はなかったが、数年前から興味を持ち、伝記も読んで強い印象を受けた。初版本は一部図書館に所蔵されているが、「できるだけ多くの人に読んでもらいたい」と再版に



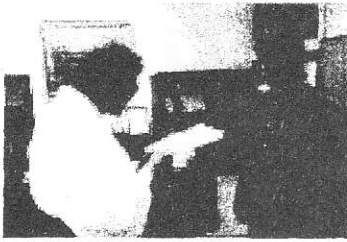
約30年ぶりに再版された「道一筋 中井虎男傳」

数学教育を通じて若者にかけた期待に応えてほしい」と話している。

再版本は1冊千円で配布し、地元や教育関係者らが行う中井の顕彰活動の賛助金に充てる。問い

郷土の偉人の伝記を読みませんか

2012.04.26 10:17:40



旧制三豊中学(現観音寺一高)で数学の教員として30年、その後大野原の村長として10年勤め、大野原名誉町民第1号となり「三豊の聖人」とも慕われた中井虎男氏(1878～1969年、享年92歳)の生涯を記録した「道一筋 中井虎男傳」再販出版と「道一筋 中井虎男傳再販に寄せて」の2冊組で1500冊が出版された。うち若い人たちははじめ多くの人たちに読んで欲しいと200冊が観音寺一高へ寄贈された。

中井虎男氏の孫にあたる大野原町宮ノ下の柘植宗尚氏から観音寺一高生徒会長の秋山雄貴君に200冊を贈呈。秋山君は「銅像はあるがよく知らなかった。この伝記を読んで勉強します」と話していた。学校では生徒たちが将来への道しるべとなることを期待している。

この伝記は、昭和58年に三豊観音寺教育会から出版。現在地元の図書館に残っているが、若い人の手に入れにくい状況だった。同校卒業生で同市栗井町在住の小山洋一氏(61)が中井虎男氏の「おごりのない生き方」に共鳴、自費で出版した。

中井虎男氏は、観音寺一高に自らが愛蔵していた書籍200冊と百科辞典1組全26冊を寄贈、「中井文庫」として国宝的数学書、ニュートン力学を解説した数学史最高の歴史的名著、ガリレオ全集などを保管して活用されてきた。また大野原中学校へ天体望遠鏡を寄付し「中井文庫」が設けられ、また彗星の発見者五郷井関の藤川繁久氏(68)を誰よりも激励し推薦した。

昭和8年4月28日、三中図書館前に同窓会によって胸像が、昭和41年には大野原小学校に隣接する大野原八幡神社境内にも胸像が建てられ、平成13年から遺族と関係者が参列し「中井虎男 頌徳祭」を行っている。

また「非ユークリッド幾何学」の著述や四国八十八番札所「本山寺の算額」の発見解明など、第1回香川県教育文化功労者を受賞。雅号「無長」として三豊工業高校の校訓「事上練磨」の扁額とともに現在も生きている。そして中井氏を一言で表したことば「道一筋」が墓碑正面に彫られている。

郷土を支えてきた賢人の歩みにふれ、人間愛、深い人間像を蘇る力になればと教員、学生そして地元の人たちにぜひ読んでほしい。また感想文を送ってもらい文集も作成予定。今後も師の思いを引き継ぐ活動のため賛助金として1000円以上を。連絡先は「道一筋 中井虎男傳再販に寄せて」編集委員会〈0875(54)4760〉。

(窪田 利栄)